

命の道

サウスゲート カリフォルニア州 アメリカ合衆国
1962年06月21日 B

1 ご存知のように、人々の中において、ユダヤ人の会堂に初めて参加することは、とても素晴らしい特権です。それは私にとって非常にまれな御馳走です。そして、これについてもっと理解すること、つまりこれらの巻物の順序や、それらがどのように扱われるかなどを理解することは、いつか来てこの会堂で癒しの礼拝を受け、ユダヤ人がおられる事。ありがとう、兄弟。どうもありがとうございました。

私はいつもユダヤ人に対して感情を抱いていました。今朝はここにいないかもしれませんが、私は彼らの気持ちを感じています。常に持っています。そして、私は、ユダヤ人が異邦人にそれを与えたように、いつか異邦人教会がユダヤ人にメッセージを受け取ると信じています。私はそれを心から信じています。

そして、それが完全にユダヤ人に戻るとき、あなたは見ます。異邦人の扉はその時閉まり、それはユダヤ人になるでしょう。だから今がその時です。私は今、内側にいることができるとてもうれしいです。

2 神はこの恵み深い小さな男性、マイケルソン兄弟を祝福します。私は人生で彼に会ったことがありません。彼がここに立っていたとしても私は彼を知りません。彼は聴衆の中にいるかもしれませんが、そして私はそれを知りません。しかし、私は彼のプログラムを聞いたことがあり、それを感謝しています。神の偉大な僕であり、今神のために奉仕している貧しく小さなユダヤ人です。私は彼が「私のイエス」と言う方法が好きです。ええ、「私のイエス」。ユダヤ人がそれを言うのはとても印象的だったと思います。

彼は確かに、この国のアメリカ全土で、この国のユダヤ人のためのたいまつ持ち主貧しく、たいまつを持っていました。そして、私の誠実な祈りは、「神様、可能であれば、イエスが来るまでそれを保持するために、彼らに弱い古い武器の力を与えてください」です。私は彼を尊敬しています。彼らが良い戦いをしたとき、私は老人を尊敬します。

3 私の仲間の一人であるF.F.ボスワース博士を覚えています。私が84歳で彼に会いに行ったとき、彼の小さな古い腕をそのように出していました、そこに戻って...彼らはちょうど80歳でアフリカの畑から出てきて、ジャングルの中で私と一緒に宣教しました。そして私は彼に駆け寄り、腕を彼の周りに投げました。私は彼が死にかけているのを知っていて、「私の父、私の父、イスラエルの戦車とその騎手」と叫びました。そのような勇敢な男。

そして彼は、「これは私の人生で最も幸せな時です、ブラナム兄弟」と言いました。彼は言った...

私は「あなたは死にかけているのを知っていますか?」と言いました。

彼は言いました、「私は死ぬことはできません。私はすでに60年間死んでいます。」彼は言いました、「私が生きてきたすべてを見る瞬間を待っています。彼が私を彼の家に招待するためにそのドアの中を歩くのを見てください。」「そうです」と言いました。

その時のことを考えます、

偉人の生活はすべて私たちに思い出させます

そして私たちは私たちの生活を崇高にすることができます、

別れとともに私たちを置き去りにする

時の砂の上の足跡。

それは本当です。はい? [誰かが質問します。]私はただ聞いていなかったかもしれませんが...彼が部屋に立って...握手したと聞きました。[聴衆の中の誰かが話します。]はい、そうです、私はそれを聞きました。大丈夫です、ゴフ兄弟。あなたがそれを思い出させてくれてうれしいです。はい。彼らは、彼が死ぬか、家に帰るかなり前に、彼は立ち上がって...長い間彼のミニストリーを通してキリストに來た彼の回心者と握手し、そして精神をあきらめ、そして続けたと言いました彼らと一緒に。なんて勇敢な.....私はそのようなものが大好きです。それだけで...

4 兄弟たち、ここロサンゼルス、またはこの南門(ここで何と呼ばれていようと)で、この素晴らしい交わりと会うことができるのは、とても光榮なことです。それは....あなたが私をここに招待してくれました。そして、もし私が何かの引き寄せがなかったら、私は来なかつたらう。

そして、私は私のミニストリーが、すべてのものがそれに来るように、ほとんど対決に近い場所になっていることを認識しています...私は...彼らは物事を話し始めました—世界が持っていること、そして協会など。第四に、私は偽の預言者であり、すべてです。そして、私はそれが来るのを探しています。今までになかったのかしら……でも、さらに悪化するのを探しています。

そして、私の試練のこの時間、そして深い苦痛が経験している間に、あなたの兄弟たちがあなたの腕を開くことを見つけるために、そして私はあなたに感謝します。主はあなたを祝福します。そして、私は私が知っているすべてのことをし、あなたの教会がより強くなるのを助け、兄弟愛を一つの心に結びつけるためにここにいます。そしてそれが私が持っている目的です。そして、私が昨夜言ったように、隅々までつかみ、神の国のために捕まえることができるすべての小さなミノーを捕まえるために。

5　そして今、昨夜私は遅れました、そして私たちは遅く始めました。そして、私はほとんどいつも遅れています。私の母は私が完全に9ヶ月の赤ちゃんで、ここに来るのが少し遅れたと言いました。そして、私はたった5ポンドの体重で生まれました、そして私は悪いスタートを切り、決して大きくなることはありませんでした。そして、私は結婚式に遅れました。私は妻を長い間待たせました。そして、それは常に待っていて、遅れています。さて、葬式に遅刻することができれば、それだけです。福音と兄弟たちとの交わりをできる限り長くしたいので、彼らをできるだけ長く待たせてください。そして今、私は今夜少しだけ速くなるように努めます。

6　昨夜...今、私が理解しているように、ここにはミニスターだけがいます。私は餌を設定しようとしています。今、そこに罪人が座っていますね。そして最初に...なぜ私が祭壇に呼びかけなかったことを不思議に思うかもしれません。まず、少し遅れて、人が疲れているなどと感じました。しかし、識別力か何かの下でほんの少しの餌、そしてそれは彼らを引き付けるでしょう。そして、ネットを広げてください。それから彼らを連れてきてください。今、私に耐えてください。私は御霊が私を行くように導くと思う通りに進んでいます。

そして今、私たちが救われたい、そして聖霊で満たされたいと思っている人たちをネットに入れたら、兄弟たち、あなたは彼らがどの地区から出ているかを知っています。彼らをあなたの教会に連れて行ってください、なぜならそれは……彼らを祭壇に引っ張るだけで、私たちが彼らをそこに連れて行くことができる限りです。そして、そこから残りの道を進みます。彼らを受け入れ、バプテスマを授け、聖霊を受けるまで一緒にいてください。そして、それが私たちがここにいる理由です。太陽が西に沈み、夕方が消えるこの素晴らしい暗い時間に。

7　そして、私は...人々の中にいます...もしあなた、あなたの多くが-それは秘密ではありません-あなたはすべて私のテープを持っています、あなたのすべて。しかし、そこにいる人々の間では、私は幕屋か何かにいたかったので、聖句のような強力な教義や、牧師たちがそれを取り、それを研究できるテープに近づきません。私は今朝、旧国のギリシャ人と一緒にやって来ました、そして彼は「シードワード」に私の6時間のテープを持っています。そして彼は私に、彼は毎日ほんの少しだけ行って、それらを取り、それを分解して、それをギリシャ語に持ってくると言いました。そして彼がどのように(私はそれについて何も知らない)、それがどのようにそのように一緒に設定されているかを示していたのです。それは勉強用です。

ここでは、釣りをしようとしています。これです。私たちは餌をそこに置いています、そして私たちは魚にフックを見せることは決してありません。あなたは彼に餌を見せます。彼は餌をつかんでフックを手に入れます。ですから、それは病人のために祈る私の時間のほとんどであり、物事はただ罪人の目を引くことです。それが餌です。しかし、釣針、福音の釣針、あなたはそれを使います。彼の前で餌を振るだけですよ。したがって、釣針を使用します。

8　それで...そして今夜私は私たちの小さな話をもう少し短くしようとします、あなたが知っているのも、私はただ...そしてボーダーズ兄弟は私がする前に少し話して、入って来ます。私は試してみます私のスピーチをするために...彼らは小さな話であり、あなたの兄弟たちにとっては幼いだけです。そして、もしあなたがそれをそう思うなら、私が言えることは何でもあなたにとっておそらく幼いでしょう。しかし、皆さんは教師であり、私は教師ではありません。しかし、私の目的は、私たちが主の到来を待っている間、神の国を助け、あなたの教会を強化し、男性間の兄弟愛を強化しようとすることです。そして、私はあなたがそれを理解すると確信しています。

そして今、これはここロサンゼルス、私が今朝気づいたように...そしてここで私の友人の何人かに会いました:元々はカナダ人だったジェファソンビルのソスマン兄弟。トム兄弟もカナダ人で、現時点でジェファソンビルに滞在しています。ジョージア州ティフトンから来たウェールズ・エヴァンス兄弟も私たちと一緒に滞在しました。毎週日曜日に1500マイルを運転して、私が福音を説くのを聞きました。 ノーマン兄弟とノー

マン姉妹、エヴァンス姉妹、ウィリー兄弟がいます。私は決して考えられません...私たちと一緒にここに出てきた小さなグループがそこに小さな集まりに座って、私たちと一緒に祈り、そして私たちが礼拝に行くにつれて強化するために。集会に参加できてうれしいです。

9 さて、この集会を設定する際に、私は見てみました、そして私たちは集会の本を持っていました—ただ人々。そして、私たちが宗派の兄弟たちと彼らの多くの間で今直面している困難さ、彼らは...あなた方全員がそうであるように宗派の兄弟たち...しかし、私は今朝この説教壇の上で、私のことを表現したいと思えます見て、見てください。あなたは自分自身を知っています、兄弟たち、あなたの人々の間であなたはどのように何かを言うことができます、そして人はそれをこのように取り、このようにそれを学び始めるでしょう。そして彼はそれを次の人に、そして次の人に次の人に言うでしょう。あなたが最初に知っていることは、それは完全に食料調達から外れているということです。そして、このようにそれを傾け、反対の方向にそれを取るでしょう。あなたはそれを知っています。

そして、あなた方の兄弟たちは、それが私について多くのことが言われている方法であり、それが一部の人に受け入れられて誤解され、ただ導かれたことを理解していると確信しています。それは全く意味がありません。

10 宗派に反対している限り、確かにそうではありません。私の兄弟はそこにいます。宗派によっては、今日は人が多すぎるようです。さて、私たちはここにユナイテッド・ブレスレン教会とさまざまな場所から兄弟を座らせました。それらの宗派は、あなたが角をもう少し伸ばして、門を開けて、ヤコブが掘った3番目の井戸（私が何を意味するか知っている）で飲むことができ、交わりを持つことができる限り、大丈夫です。

しかし、あなたがしなければならないすべての宗派に属している限り、あなたが来るとき、いいえ、それ以上のものがあります、兄弟たち。そして、それは全世界が常に持っている場所です...そしてあなたは...私たちは今朝私たちと一緒に素晴らしい歴史家としてここに座っています、そして私たちは教会がその線を引くとすぐに「私たちはそれです」という宗派を知っています。すぐそこに神が彼らを去り、彼らは死に、二度と復活することはありません。教会がどこに倒れ、再び立ち上がったという歴史はありません。そうではありません...そしてなぜなら....

11 私が最初にこれに入ったとき、このミニストリーで、私のために最初にあなたの腕を開いたのは、ユナイテッドペンテコステ派教会の兄弟たちでした。それがリチャード・リード兄弟、ジャック・ムーア兄弟、ベン・ペンバーマン兄弟、そして私の最初の出会いであるセントルイスでした。そして、私が今までに参加した最初の集会は、P.F.W.、P.F.J.C.でした。彼らが合流して一緒になる前のように—ミシヤワカのライアン兄弟。そして、私はそのような素晴らしい兄弟たちの交わりを見たことはありません。

さて、それで、私は知りました...私はそれがペンテコステがすべてだったと思いました。それがペンテコステでした。しかし、私はいたるところにさまざまなグループがあり、それぞれに立派な男性がいることを知りました。ですから、私は腕を伸ばして違反に立ち向かい、すべての兄弟を交わりの団結に呼び込もうとしました。そうすれば、私たちが兄弟である限り、彼らが何を信じていても理解できるようになります。なぜなら、私が自分自身を置かなければならないと確信しているからです...今朝、神が私の顔に彼の指を向けて、「若い男、あなたは自分自身を完璧にするまでには長い道のりです」と言うことができる多くの欠陥があります。だから、それが私がみんなについて感じ、彼らを一緒に引き寄せようとした方法です。さて、それが私の目的です。団結した交わりを持つことです。神はあなたを祝福します。

12 そして、私が少し前に言い始めたように、これらすべての真っ只中に、それでも、何百もの場所そしてミッションフィールドから呼ばれていました。そして今、私は伝道の旅をしました。私は国を横断しています。そして、それを離れるとすぐに、宣教師の旅で海外に行きます。

そして、私は自分自身で、説明する時間がないことを試み、神に何かを求めています。なぜなら、キリストの接近...キリストの到来は私たちが実際に考えているよりも近いと信じているからです。私はそれがドアのすぐそばにあると信じています、そしてそれを考えるときそれは本当に私を緊張させます。自分自身には緊張していませんが、これには緊張しています。私は最善を尽くしましたか？ 私が神の国のために与えることができるもう一つのオンスが私にありますか？ 私にできることはありますか？ なぜなら、これが私たちが今これまでに経験する唯一の機会だからです。

13 そして、私は教会を叱りました、私は私たちの人々を叱りました、私は彼らの髪を切ったことで私たちの姉妹を叱りました、化粧をしていることで彼らを叱りました。私は兄弟たちにそれを許可したことで叱りまし

た、そして私たちの牧師たちやそのようなことは、私が彼らに対して何かを持っているからではありません。それは私が彼らに嫉妬しているからです。それらは神の遺産です。

そして、私はミニスター達の兄弟たちを叱りました...グループの中で自分たちを一つの小さなものに引き込んだだけではありませんでした。さて、私は思うでしょう...「私たちはこれ、コンマ、そして神がそれに追加できるすべてを信じています...」と言う宗派があったとしたら、しかし私たちが宗派の領域を作るとき、私たちは言います、「私たちはこれを信じています、期間」そして聖霊はすぐに入ります。そうです、ほら。さて、それをコンマで終わらせることができれば、私たちは成長し続けます。

14 最近、私はミネソタ州ミネアポリスでルター派の兄弟たち(皆さんは聞いたことがあると思います)と会いました。そして、ああ、何と! 彼は22ページの手紙で私を石炭の上で掻き集めたことがありますか? 彼は「まさにその考えだ!」と言いました。「私は昨夜、目がくらむような吹雪の中を15マイル走りました。キリストの僕の声が聞こえると思いました。そして、私は何を聞きましたが、洗練された占い師です!」

そして、ああ、彼は...そして言いました、「あなたの考えそのもの、ミッションの分野で15年の人、そしてあなたは25年間福音を説教していると言います!」そして、「それから、あなたがあなたが使う文法とあなたが話すまさにその教義を使うのを聞くために」と言いました。彼は言った、「あなたは昨夜、サタンが癒せないほど多くのことを言ったのです。」「そのような発言をして恥ずかしい」と言いました。

そして、「ルーテル大学の学部長!」と思いました。

15 そして彼は言いました。「この私たちの大学からそう遠くないところに、なじみのある霊を持った女性がいます。彼女は大きなエプロンを着て、人々がやって来て、彼女は彼らに手を置きます。そして、彼女は彼女の静脈を摘み取り、首の後ろから小さな髪を取り、それを巻き上げ、そこに血を流し、彼女の後ろの小川に歩いて行き、そのように彼女の頭の上に小川に投げ込みます。彼女の手で歩き始めます....」

そして、「そこに立っている人々、彼女が振り返ることを強いられているなら、病気はその人の血に...彼女の髪の毛にあります。」と言いました。そして言いました、「それから、彼らが振り返ると、病気はその人に戻ってきます。しかし、そうでなければ、その人は元気になるはずですよ」と言いました。そして、「それらの約20パーセントは元気になります。そして、あなたは悪魔が癒すことができないと言います。」

16 ああ、彼は良い霊的アプローチをしていました。しかし、兄弟よ、それは私たちがアプローチするものではなく、精神的でもありません。私たちは聖書に近づきます。それで私はただ考えました。「まあ、22ページの手紙は...私を兄弟として呼びかけさせませんでした。ちょうど言った、「ブラナム」。」それで私は「まあ.....」と思いました。

彼は「そしてあなたはあなたの年について話していました」と言いました、「私はあなたが生まれる前に福音を説教していました。」と言いました。

ええと、「長い間福音を宣べ伝えてきた人は、どんな人であっても敬意を払うべきだ」と思いました。私たちは彼を尊重すべきです。

それで私は座って彼に話しかけました一私の小さな引っかき傷、私ができる最善のこと一彼を認識するために2ページ前に。そして私は言いました、「親愛なる兄弟よ、あなたが何年も費やしてきたこと、そしてこのすべてに感謝しています。」私は言いました、「キリストの僕よ、感謝しています。そして、私は批判に感謝しています。」さて、批判を受け入れることができない人は、彼の経験に何か問題があります。なぜなら、神は私たちに批判を送り、私たちを正し、私たちの悪い点を見てもらうためです。私は友好的な批判である批判にとっても助けられてきました。ただ不快になったり怒ったりしないでください。しかし、ただ友好的な批判。それで私は「感謝します」と言いました。

17 そして私は言いました。「でもここで言いたいことが一つだけあります。あなたが私の文法について話していたように、もちろん私はそうではありません...私は教育を受けていません。それは本当です。」しかし、私は言いました。「私を驚かせたのは、ルター派の大学の学部長が、あなたが癒すことができる魔女について話したとき、神の言葉ではなく経験に基づいて神学を学んだことです。」

私は言いました、「イエスは言った、『サタンがサタンを追い出すことができるなら、彼の王国は分裂した』。彼は癒すことができません。今、あなたはできる...ほら、彼ができるかどうか...イエスは彼が癒すことができないと言いました、そしてあなたは彼が癒すことができると言いました。 私はイエスを信じるつもりで

す、ほら(そうです)、なぜなら彼はすべての人の言葉と彼の権利を間違ってしまうと言われてたからです。そして私は言いました、「私はイエスを信じています。」

「そして私が驚いたことに、ルター派の大学の学部長が、神の言葉ではなく、経験や感情に基づいて神学を学んでいたのです。」私は言いました、「学部長や他の誰でも、どんな牧師も彼の神学は主の言葉に基づいているべきです。」そして私は言いました「私は確かに……」

「そして、あなたが占い師であると呼ぶものは、私はそれが識別であったと思います。」と私は言いました。そして私は言いました、「パリサイ人とサドカイ人が、私たちの主が行ったのと同じこと、つまり彼のバルゼバブを見たときに、彼ら自身がそのような発言をしたことをご存知ですか？」私は言いました「さて、もし私が正しければどうなるのでしょうか？ さて、イエスは、聖霊が同じことをするようになったとき、それに反対する言葉を話すことは、この世界でも来るべき世界でも決して許されないだろうと言われてました。あなたが50年間説教していたとしても。聖霊に反対する言葉を私は言いました、「私はあなたにそれを許します、そして神があなたがそれを理解していないのを見たので、神がそうすることを知っています。」そして私は彼に私ができる最も素晴らしい手紙を書きました。後で私は私が来るように誘う手紙を受け取りました。

18 それで私はそこでビジネスマンと朝食をとり、全福音ビジネスマンのために話していました。そして、ムーア氏—ジャック・ムーア兄弟—あなたの兄弟の多くは彼と知り合いです、一人の立派な人、そして私は…

エーゲリー博士がムーア兄弟のところに来て、私にできるかどうか尋ねました…彼が私を大学に連れて行ってくれるかどうか。「きっと今は間違いない」と思いました。だから私は…ムーア兄弟は神学者なので、「まあ、彼を連れて行った方がいい」と思いました。それで私は言いました「あなたは私の隣に座っていますそして、彼が私が理解できないいくつかの言葉や文法を話すなら、私はあなたをそのように足で蹴ります。その後、そこから始めます。」

そして彼は「大丈夫」と言いました。

19 それで私たちは大学に行きました。そして、私たちがそこに着いたとき、彼らは夕食のためにここにこの講堂と同じくらいの大きさの場所を持っていました。そしてそれはノルウェーの人々でした、そして彼らは彼らの夕食のセットを持っていました、そしてとても素晴らしくて素敵でした。学部長は一方の側に隣に座り、彼の仲間もう一方の側に座りました。

それで、私たちが終わった後、彼は「ブラナム兄弟、私たちはあなたにいくつか質問したいのです」と言いました。

私は「最初に一言お願いします」と言いました。私は「あなたの質問に答えられないかもしれませんが」と言いました。私は、「もし私ができないなら、ムーア兄弟がここで私を助けてくれれば大丈夫だろう」と言いました。私は「でも、あなたの質問に答えるのは苦手かもしれませんが、できる限りのことをします」と言いました。

そして彼は、「これがそれである」と言いました。「私たちはペンテコステ派のことを何年も聞いてきました。」と言いました。そして、「私たちは彼らに会いに行きました」と言いました。そして、「私たちは何を見つけましたが、椅子を蹴ったり、窓をノックアウトしたり、そのようなすべてのものを見つけました」と言いました。「そして私たちの人生でこれまでに聞いたすべての騒音」と言いました。「それらの人々は何を得たのですか？」と言いました。

私は「聖霊」と言いました。

彼は「聖霊？」と言いました。

私は「はい」と言いました。私は言った…

彼は言いました、「あなたはいつもペンテコステ派でしたか？」

私は言いました。「まあ、私は少年の頃、かつて宣教師バプテスト教会に所属していました。定められました。」しかし、私は「叙階された直後に」と言いました。「聖霊を得たので、ペンテコステ派だったと思います。」

彼は言った、「あなたはそれがペンテコステ派だと私に言うつもりです…彼らはペンテコステ派の人々で

す、それは彼らを椅子の上に蹴らせてそのように続ける聖霊ですか？」

私は「はい、それは聖霊です」と言いました。私は「それが問題なのです」と言いました。「彼らは非常に多くの圧力をかけ、蒸気を発生させ、エンジンに入れて車輪を回転させる代わりに笛を吹き飛ばします。ほら。それだけです。」私は「そうです」と言いました。私は言いました。「そこにはたくさんの蒸気があり、彼らはただ笛を鳴らさなければなりません。私が知っているのはそれだけです。」そして私は、「彼らはもはやそれを保持することができない」と言いました。

そして彼は「まあ……」と言いました。

私は言いました。「もし私がペンテコステ派の信仰で基本的な教えを、あるいは基本的な教えでペンテコステ派の信仰を得ることができたら……彼らは神のしもべですが、彼らは自分たちの立場を本当に理解していません。それだけです。」

そして彼は言いました、「まあ、あなたは私たちルター派が何を持っていると思いますか？」

私は「聖霊」と言いました。

それから彼は立ち止まり、「今、私はあなたに何を尋ねるべきかわかりません」と言いました。

20 私は言いました、「まあ、あなたがここにトウモロコシを入れた約千エーカーの土地を手に入れたと理解しています。」私は、「学生が自分の道を支払うことができない場合、彼らは大学を通り抜けることができません」と言いました。

彼は「そうです」と言いました。

それで主は私に少し考えを与えられました、そして私は言いました、「ある時、トウモロコシを植えるために大きな畑を壊した人がいました、そして彼は畑に彼のトウモロコシを植えました。そして次の...ある朝、彼は出かけました。そして、彼が自分の畑を見渡すと、2枚の小さな刃が見えました。」誰もがその育てられたトウモロコシがそれがどのように現れるかを知っています。私たちが南部で「小枝のとうもろこし」と呼んでいるものは、ちょうどそのように現れます—2つの小さな刃。

そして私は言いました、「その人は彼の玄関先に立って、『私のトウモロコシの収穫のために主を賛美しなさい』と言いました。」私は言いました、「今、彼はトウモロコシの収穫を持っていましたか？」

彼は「まあ、彼にはスタートがあった」と言った。

そして私は言いました、「まあ、潜在的に彼はトウモロコシの収穫を持っていました、ほら。彼はそれを幼児の形で持っていました。」そして私は、「それはあなたがルター派だった」と言いました。

21 そして私は言いました。「ついに、そのトウモロコシは房のある場所まで成長しました。そして、あなたは房が何をしたか知っていますか？ 房は刃を振り返って言った、「私はもうあなたには役に立たない。私は房です。」しかし、それ自体を再現するために、ブレードを再度使用する必要がありました。それからそれは...この房から刃に戻って耳を生み出しました。」

私は言いました、「さて、最初はあなたがルター派でした。二つ目はメソジストによる神の動きでした。そして3番目の耳は、地面に落ちた元の穀物の、教会への賜物の回復を取り戻したペンテコステ派のグループでした。ヨエルが言うように、それは再び回復しているだけです。」を参照してください。私は言いました。「今、私たちはその耳にたくさんの菌がいることを知っています。しかし、それでも私たちはそこにいくつかの穀物を持っています、あなたは知っています。」

そして彼は「まあ……」と言いました。

私は「それが元々の穀物です」と言いました。私は言いました。「今、ペンテコステ派の教会は高度なルター派の教会です。結局のところ、葉がなかったら、房はなかったでしょう。そして葉の中にあつた生命が房を作りました。そして、房にあつた生命が穀物を作りました。ですから、それは生ける神の進んだ教会です。」

22 彼は立ち止まり、皿を押し戻しました。彼は言いました、「ブラナム兄弟、私は一度西に行きました。私は聞いた...本がすべての霊的な賜物について書いている。」そして、「私はその男を見つけるために西に行きました。」と言いました。そして、「私がそうしたとき、彼は言いました」ああ、私はちょうどそれらについて書

きました。私はそれを持っていませんでした。」「私はそれらについて書いたばかりです」と言いました。まあ」と言った、「私はそれをするのができたでしょう。」

そして、「私は周りを回って、これらすべてに気づき、ペンテコステ派のグループなどに行きました。」と言いました。そして、「私は彼らが叫んでいるのに気づきました。」と言いました。

ほら、たまたまそこにあったのです。悪魔が彼を間違った時にそこに置いたのです、人々が...本当に喜んでいる時です。そしてそこで彼は意見を持って出かけました、ほら。

そして彼は、「私があなたに書いた手紙をお詫びします」と言いました。「私はそれに反対するような場所で自分自身を築き上げました、そしてそれは私がそれをそこに固定した場所です。そして、あなたは占い師に過ぎないと言いました。」彼は「許してください」と言いました。

私は言いました「もちろん、確かに先生 私は手紙の中であなたに言ったことを、決して何も持たず、決して持っていませんでした。」

23 彼は「あなたの唇からそれを聞いたかった」と言いました。彼は言いました、「さて、ブラナム兄弟、私とすべての学生にとって、私たちは皆聖霊に飢えています。私たちは何をしなければなりませんか?」

だからあなたは私が彼に言ったことを知っていますね? 私は言いました。「このように背中を向け、顔を壁に向けてください。そして、神があなたに聖霊のバプテスマを与えられるまで、決して膝から離れないという目的を心に留めてください。」そして私は言いました、「今、これやあれや他のことについて考えないでください。ただそこにいて、「神様、聖霊が欲しい」と言ってください。」

私は周りを回って彼らに手を置いたところ、40人がその時に聖霊を受けました。そして今、それらの約500があり、強く、行き、印、奇跡、不思議などを持っています。

24 兄弟たち、私たちは世界が持っていなければならないものを持っていると信じています。しかし、私たちはある意味でそれにアプローチする必要があります...あなたが大工だったらどうしますか? ここで最後の男を連れて行ってください...または向こうのボーダーズ兄弟には大工がいると私は信じています。さて、もし彼がこのようなハンマーで運転していて、釘を打ち込んでいて、私が釘の樽を注ぎ、このように持ち上げて、ボードを動かすことができるある種の自動ハンマーを持っていたらどうでしょうかそのようにアップします—彼がハンマーでできるよりもずっと良くなりました。

さて、私が彼に近づいたら、こう言います。あなたはそれについて何も知りません。なぜ指をつぶしているのか。私、あなたはそもそも製品を持っていないだけです」と私は彼を怒らせています。ハンマーは絶対に売れません。そうです、ほら。それは私が持っているものに対する私のアプローチです。私の製品は、彼が持っているものよりも優れていると私は知っています。しかし、私は正しい方法で彼にアプローチしなければならないことを覚えておく必要があります。

そして、私が彼に近づいて、こう言うと、「どうしますか? 私の名前はブラナムです。」

「私のものは国境です。」

「あなたは大工だと思います。」

「はい。はい、そうです。」

「あなたも本物の大工だと本当に信じています。」

「はい。」

「私はあなたがハンマーを扱っている方法を見ていました。」

「ああ、そうです。オールドベッツィは長い間私と一緒にいました。」

私は言います「ええ それは良いことです。ええ、確かに良いです。そして、あなたは本当にそれを扱うことができます。ええ。」しばらく彼と話してください。

私は「あんなに新しいハンマーのことを聞いたことがありますか?」と言います。

「いいえ、今までやったとは思いません。」

「まあ、ここにあります。あなたはここに釘を入れて、それらのボードをそこに貼り付けましょう。これが行われる時期と、私が手に入れた製品を見てください。」そのように彼にそれを見せてください。言ってやるがいい。数日間試してみて、あなたがそれについてどう思うか見てください。私は戻ってきます」と言ってください。

それが適切な種類の製品であれば、それ自体が売れるでしょう。あなたは私が何を意味するか知っていますね、兄弟たち？

25 ほら、私たちは正しいことをしました。私たちはそれで人々に正しくアプローチしなければなりませんでしたね。それが問題です、見てください。それは本物の本物です。これが聖霊です。私はそれを心から信じています。

私は兄弟が反逆者であるとは思わない。彼らは兄弟だと思えます。私は、識別をする御霊が占い師であるとは思っていません。私はそれが彼の教会で彼自身を明らかにし、ただ教会をその場所に来させる聖霊であると思っています。そして、もし私たちがペンテコステ派の動き全体を取り、小さな障壁を打ち破り、集まる場所を持ち、キリスト・イエスの天の場所に座ることができれば、私たちは一つの霊によってバプテスマを受けますああ、これまで知られていなかった症状があると思います。そして、私たちがメソジスト、バプテスト、ペンテコステ派に近づくことができれば、どこにでもどこにでも行くことができれば、それはできると信じています、兄弟たち。

26 ここに立ちたくない。聖書から一言か二言読んで、ちょっとお話ししたいと思います。しかし、私は欲しかったのです...あなたが行かなければならないことを知っています、そして私も持っています、そして私は土曜日の朝にその朝食を取りました。そして、月曜日の夜にここで別の夜に滞在することを期待しています。まだわかりません。ボーダーズ兄弟などと話をしなければなりません。しかし、私はこれをあなたに残したいと思います。私はあなたを助けるためにここにいるということです。それはただ...私たちにはありませんが...数分一緒に座ってください。今日の午後に礼拝が始まるまでここにおいて、朝にまた戻ってきたらいいのと思っています。そして、私はあなたの兄弟たちが言わなければならないこと、そして私がそれをどのように感謝しているかに耳を傾けました。

しかし、ただ私の心をあなたに知らせるために。私はあなたに感謝します、そして私は私の兄弟として、主が私に与えられた小さなミニストリーと主があなたに与えられたものであなたを助けるためにできる限りのことをするつもりです。彼の御国のためにできること。彼の言葉に近づく前に、少し頭を下げましょう。

27 最も恵み豊かな神様、イエス・キリストの名において、私たちは謙虚で悔い改めた霊をもってあなたのもとに来ます。主よ、預言者が成形のために陶芸家の家に行ったとき、私たちが成形の準備ができていることを知って、解散しました。そして父よ、私たちは今朝、あなたが私たちを壊して、私たちがさまざまな聖書の登場人物、イエス・キリストを表す登場人物に形作られるように、私たちの心の中で望んでいます。主よ、私の愚かな心を取りなさい。主よ、私のつまらない言葉を取り、それらをバラバラにしてください。私自身の意志を打ち破り、キリストの中に新しい人を作りなさい。主よ、それを認めてください。それが私たちの心の願いです。それが私たちがここにいる理由です。

そして、主よ、私たちがこの祭壇の上であなたについて話している間、あなたを信じるこのユダヤ人の兄弟、マイケルソン兄弟、私は彼のために祈ります、父よ。あなたが彼を祝福してくれることを祈ります。そして、私たちはこのクリスチャン会堂ここにいる機会に感謝しています。

28 みことばを読むのを少し待つだけなので、今、一緒に祝福してください。私たちの考えにそれを祝福してください。主よ、私たちの奉仕を祝福してください。

神様、あなたは私たちの心を知っています。そして、私はただ一つの心、一つの魂、そして一つの目的で、ここにいる私の兄弟たちと一緒に編まれないと思っています。それは、この20世紀の暗くて陰気なこの土地で、1962年にここで、再び世紀、時が来ました。

そして、ここ西海岸では、文明が東から西へと移動してきましたが、今はそれ以上進むことができないことに気づいています。この海岸を離れると、再び東に戻ります。そして文明が来たとき、私たちは太陽が東から西に移動することに気づきます。そして、S-o-n(御子)が東の人々に出くわした時がありました、そして、彼は大きな光を示して、彼が救世主であることのしるしをしました。そして彼は約束しました...

29 預言者は、昼も夜も呼ばれない日があるだろうと言いました。私たちは、ほぼ2000年のこの悲惨で霧のかかった日を過ごしました。ただ信じることができ、周りを歩き回り、彼が神の子であることを知り、私たちに教会と組織を築くのに十分な光でした。兄弟姉妹と一緒に抱きしめて、彼らを正しく生きさせようとしません。

しかし、主よ、霧は晴れ去り、西洋の人々に光が来ています。同じ印、同じ福音、回復を伴う同じSon(御子)です。

あなたは最後の日に、子供たちの信仰を父親に戻すメッセージが出ると約束しました。神よ、ペンテコステの元の日に戻りましょう。かつて聖徒たちに伝えられたその偉大な信仰に戻りましょう。

30 パルマ虫が食い尽くした神の偉大な花嫁の木が、神の御子の来臨のために夕方の光が熟す果実をその上にもたらしめますように。主よ、それを叶えてください。私たちがこの目的のために集まるとき、私たちに助けてください。

私たちはあなたに献身します。私たちはあなたのものです。あなたが適切だと思うように、主よ、私たちと一緒にしてください。主よ、私たちは今朝、この会堂であなたの手に委ねます。私たちが完全にあなたに捧げるとき、あなたの大きな目的が私たちの生活の中で達成されますように。サムソンほどではありません。サムソンは力を与えましたが、決して心を与えませんでした。神様、私たちの心、力、すべてがあなたに与えられますように。主よ、それを力強くしてください。神の国のためにそれを掛け合わせてください。イエス様の御名によってお願いします。アーメン。

31 第16詩篇では、最後の節を読むためだけに：

あなたはいのちの道をわたしに示される。

あなたの前には満ちあふれる喜びがあり、

あなたの右には、とこしえにもろもろの楽しみがある。

そして今、あなたは私が説教しようとしないうことを知っています。ちょっとお話ししたいのですが、例えば15分、20分くらいです。ここのダビデは人生について話していました。「あなたは私にいのちの道を示して下さい。」気づきましたか？ 見せてくれませんか？ またはあなたは私に見せてもらえますか？ あなたが私に見せてくれることを願っています。「あなたは私に見せてくれます。」

私は、神が召されたすべての人が聞いて来られると信じています。今、私はそれが私たちの会議で今直面していることだと信じています。種をまくしかありません。途中で倒れる人もいます。ある方向に落ちるものもあれば、別の方向に落ちるものもあります。しかし、いくつかは良い地に落ちるでしょう。そうです。「命の道を示してください。」

32 今、命は私たちが達成できる最大のことで、命に勝るものはありません。今朝栄光に行くことができ、私たち全員がそこに上ることができ、そして私がアブラハムに会うことができれば...

「そこで最も素晴らしいことは何ですか、アブラハム？」

彼は「命」と言うでしょう。そこで...他に何があっても、命は誰もが達成できる最大のことで、命です。あなたは命に何を与えますか？

家に本を持っています。刑務所の牧師であるニュージェント兄弟によって書かれたと思います。そして彼はこの本の中で、キリストの時代から地上で死んだ偉大な人々の証を述べています。そして、彼は邪悪な偉人の証言と、本の反対側にある霊的な偉人の証言をします。そして私はそこで読んでいました、それはイギリスの血まみれのマリアだったと思います、そこで彼女は「もし私ができれば...私は私の御国に5分以上の命を与えるだろう」と言いました—彼女がたくさん置いた御国...などの理由で死ぬまで。それでも、彼女は御国にさらに5分間の命を与えるでしょう。

33 パウロ・レイダーがタバナクル(幕屋)で亡くなったとき、またはタバナクルがあった場所で彼が言ったときの、ここでのパウロ・レーダーの証言を今でも覚えています。彼が死にかけているとき、彼は兄のルークに電話しました。彼らは、ビリー・ポール、私の息子、そして私のように、ある意味一緒に集まっていた。

そして、私がムーディー学校から理解しているように、彼らはそこにカルテットを持っていて、歌っていま

した。そして、パウロはユーモアのセンスを持っていました。彼らは「私の神の近くであなたに」と歌っていました、そして彼は言いました、「誰がここで死にかけているのですか？ 私かあなたか？」そして、「日よけを上げて、きびきびとした福音の歌を歌ってください」と言いました。そして彼らは「十字架の下で」、そのような何か、カルテットを歌い始めました。そして彼は「ルカはどこ？」と言いました。

彼は隣の部屋にいました。彼らは彼を連れてきました。彼はルカの手を握りました。彼は言いました、「ルカ、考えてみて！ 今から5分後、私はイエス・キリストの義に身を包んだイエス・キリストの御前に立つことになります。」そのように行かせてください。

34 ドワイト・ムーディ、彼が立ち上がって「これは死ですか？」と言ったとき、彼の証言が何であったか知っていますか？「今日は私の戴冠式の日です。」と言いました。それが私が行きたい方法です。

つい最近、大切な私の母の手を握って行きました。彼女が行ったとき、私は妻の手を握りました。彼らが道の終わりに来るとき、私は彼らを見てきました。人生は最高のものです。そして、これが終わった後に希望がない人は、それはひどいことです。私たちは人生の道を歩みます。

非常に多くの人々が「命とは何ですか？ どこにありますか？」

つまり、それは私たちの周りにあるのです。神はそれをそんなに成し遂げました...

35 ヨブのようにさえ。私たちはヨブで彼がそれについて尋ねたことを知ります。人生を通して私たちはそれを聞き、それについて尋ねます。

私が住んでいるジェファソンビルに住んでいた小さな男の子を思い出します。ある日、彼らは彼がそうだといいました...彼の母親のところへ行き、彼は言いました。神様、あなたが話しているこの神様はとても素晴らしい人です。誰かが彼を見ることができましたか？」

彼女は「牧師に聞いてください」と言いました。

それで、牧師のところに行って彼に尋ねると、彼は言いました...いいえ、日曜学校の先生。そして日曜学校の先生は「牧師に聞いた方がいい」と言いました。彼女は知りませんでした。

それで彼は牧師のところへ行きました。

彼は「いや、いや、息子」と言いました。彼は「誰も神を見て生きることはできない」と言いました。「あなたは神を見ていません」と言いました。まあ、それはある意味その小さな子をはっきりさせました。

36 そして、年老いた漁師がいました。そしてある日、彼はこの年老いた漁師が釣りをしている川に上がっていて、嵐が来ました。あなた方の多くは東から来て、どのように...葉を洗い流し、それが川を下って来ていたかを知っていると思います。そして、その少年はボートの後ろに座っていました。そして、太陽が西に沈んでいて、虹がそのように川を横切って来ました。

そして、年老いた漁師、油を塗っています...嵐から水は静まり、すべてが新鮮で、花の匂いがしました。そして、彼が漕ぐと、彼が見たとき、彼の灰色のひげの上に大きな銀の涙が彼のひげを流れ始めました。

小さな男の子は自分が見ているものを見るために周りを見回しました。彼はその年老いた漁師を見た。そして、彼は船の船尾から船の中央まで駆け上がり、年老いた漁師の膝のそばに座りました。

そして彼は言いました、「先生、私はあなたに何かを聞きたいです。私の母は私、私の日曜学校の先生、そして私の牧師に答えることができません。」「……神はとても偉大なので、だれでも彼を見ることが出来ますか？」と言いました。

そして、年老いた漁師はオールを膝に引っ張り、小さな男の子の頭を肩に当てて言いました、「神はあなたの小さな心を祝福します、ハニー。過去40年間私が見たのは神だけでした」と、見てください。彼はただ……神がそこにいるのを見るには、ここに神がいなければなりません。神はあなたの目を通して内側を見ているのです。

37 私は通りの向こう側の木を見ています。私は今、モハベ砂漠、またはここに降りてくる砂漠を通り抜けたとき、すべてがとても死んでいるように見えたと思っています。そして、コロラド川の近くに着いたとき、小さな緑の茂みが1つありました。とても目立ちました。「どこから命を得ているのか」と思いました。ほら、命があ

った。それは生きていました。神は生きておられます。彼は...生きているすべてのものに神がいます。

ヨブはある日言いました。「木が死んだら、それは再び生きるでしょう。しかし、人は横になり、幽霊をあきらめます、そして彼はどこにいますか？彼の息子たちは嘆き悲しんで彼に名誉を払うためにやって来ますが、彼はそれを認識していません。ああ、あなたは私を墓に隠し、あなたの怒りが去るまで私を秘密の場所に留めておくことを。」

そして彼は見ました...彼は彼の性質、人生、小さな花がどのように現れるかで神に気づき、そこに立っています。そしてしばらくすると...それはきれいで、花壇に若いもの、中年のもの、古いものがあります。しかし、霜が来て彼らを襲うとき、それは彼ら全員を殺します。そして、小さな花はその小さな花びらを落とします。そして、その花のつぼみから、小さな黒い種子があります。小さな、小さな、仲間が落ちます。

そして、見た目は奇妙なことです...しかし、それでも、神はその花のために葬式の行列を持っています。ご存知ですか？秋の雨が降り、それは水の大きな涙を流して泣きます。そして、彼はその小さな種を地面に埋めます。それに伴い、冬の凍結が起こり、凍結します...それは破裂します。パルプがなくなります。あなたが見るのができたすべての自然なものはなくなっています。

38 科学者はそのほんの一握りの汚れを取り、それを実験室に持っていき、前後に調べることができます。そして、あなたはその生命の芽を見つけることができません。そこにはありません。カリウム、カルシウム、石油、湿気など、その中に含まれるすべてのものがほこりの中に戻ってきました。しかし、どこかに隠れている生命の芽があります。そして、春に太陽が再び昇るのと同じように、それは再び生きるでしょう。神はそのための道を提供してくださいました。

あなたは冬にコンクリートを取り、庭に石を置きます。あなたの最大の芝生はどこですか？あなたの散歩の端のあたりです。なぜですか？覆われたのはそれらの種です。そして、その太陽がその植物学の生命に輝き始めると、その小さな生命の種がそのコンクリートの周り、すべての岩の上、すべての棒の下に巻き付き、小さな頭が外に突き出るまで回り、賞賛します命の神。あなたはただ人生を隠すことはできません。それが私たちがここにいるのです、兄弟たち、命をもたらすためです。

39 少し前まで、私は座って、メソジストの古い牧師、優雅な古い神の聖人と夕食を食べていました。彼は人生に聖霊を持っていました。そして、私たちはルイビルからやってくるアグリカルチュラルアワーを聞いていました。そして、4Hクラブには、トウモロコシの粒を完璧に仕上げ、畑で育てたものと同じ種類のコーンブレイクと同じくらい良いコーンブレッドを作ることができる機械がありました。

そして実際には、それらを切り開いて実験室に置くことができます。そして、心臓は適切な場所にあり、適切な量の水分とジャガイモ、そしてそれらすべてがトウモロコシに含まれていました。あなたはそれらを分離することができませんでした。一度混ぜると、見分けがつかなくなり、完璧でした。

彼は言いました...「あなたがどちらが彼らを埋めているかを知ることができる唯一の方法です。機械が腐ったもの、そしてそれだけです。しかし、神が育てられたもの、それは再び立ち上がる生命をそこに持っているのです。」

40 人はクリスチャンのように見えたり、クリスチャンになりすましたり、クリスチャンのように歩いたりするかもしれませんが、その生命の芽がそこになれば、彼は再び立ち上がることはできません。

イエスは、「私は彼らに命があるように来た」と言われました。ゾーイ、彼らの中に神自身の命があるのです。そして、そこには...始まりがあったものすべてに終わりがあります。終わりのないのは、始まりのないものです。始まりがなかったことが1つだけあります。それが神でした。そして私たちは彼の子供となり、彼の一部となります。それから、ゾーイ、神自身の命、つまり永遠の命が私たちに与えられます。そして、それが私たちが生きることができる唯一の方法です。そして、それがここにいる私たちの失われた友人、教会のメンバーでさえ二度と生きることができる唯一の方法は、ゾーイが彼らに与えられ、私たちがその一部になったからです。

41 ペンテコステの日に気づきましたか？私たち全員が知っているこの大きな火の柱が、契約の使者であったイエス・キリストだったのです。モーセは、キリストの非難をエジプトの宝よりも大きな富と見なしていました。彼はその偉大なものに従ってエジプトを見捨てたからです。メッセンジャー、この光。

ペンテコステの日に、この大きな光がそこに来たとき、神はご自身を分けられました。火の舌がそれぞ

れの上に座り、それらはすべて聖霊で満たされ、御霊が彼らに発声を与えると、他の舌と話し始めました。神は彼自身をある存在から分離し、彼の教会で彼の人生を彼の民。それが私たちが人々に伝えなければならないメッセージです。彼らはそれなしで滅びるでしょう。彼らはしなければなりません。

42 私の母は最近、私が彼女のそばに立っていたときに亡くなりました。そして彼女は「ビリー....」と言いました。彼女の子供たち全員がそこに立っていて、何が生きていたのでしょうか。私たちのうちの2人は10人のうちにいなくなっていました。そして女の子....彼女は私を見て、彼女は言いました....最初に彼女はドロレスを見ました。彼女は「私の最後、そして私の最初」と言いました。そして母は恵み豊かなクリスチャンでした、そして私は彼女をキリストに導き、何年も前に彼女にバプテスマを授けました。

そして彼女は言いました、「ドロレス、あなたは私に親切にしてくれました。あなたは私を助けてくれました。あなたは私をしてくれました...私が年を取り、洗えなくなったときに私のために洗ってくれました。あなたは私の家を片付けるために降りてきました。あなたはこれらのことをするでしょう。」彼女は「愛しています、ハニー」と言いました。

そして、若いクリスチャンであるドロレスは、そこに立って窒息し、見下ろしていました、そして彼女は「お母さん、それはとても小さかった」と言いました。

彼女は言った、「ビリー、あなたは私が空腹にならなかったのを見ました。」

そして私は、「ママ、私たちが何も食べるものがないのに、私が何かを食べることができるよう、あなたは何回テーブルから離れましたか?」と言いました。そして私は、「それはただの義務でした、お母さん」と言いました。

そして彼女は言いました、「それなら、あなたは私への霊的なガイドでした、ビリー。あなたは私にバプテスマを授けました。あなたは私に生き方を教えてくれました。」

私は「ママ、あなたは私たちの背景がカトリックであることを知っています」と言いました。そして私は「私は教会に行きましたが、彼らは「これは教会です」と言いました、そしてそれはみことばに反していました。私は教会から教会へ行きました、そして私はそれがとても反対であることに気づきました。それで私は御言葉にとどまりました、お母さん。そして、私は言いました、「私はあなたに何が正しいかを伝え、あなたをキリストに導くように努めました。」

そして、親愛なる年老いた聖人は神に会うために立ち去りました。そして、私は彼女の魂を神に託しました。

43 ドロレスは私を呼び、彼女は「ビリー、私はそれを乗り越えることができない」と言いました。彼女は「お母さん!」と言いました。

私は言いました、「ドロレス、あなたが住んでいる場所から道路の向こう側を見渡してください。そこに大きな樫の木が立っていませんか?」

彼女は「はい」と言いました。これは母が亡くなるほんの数日前のことでした。そして彼女は「はい」と言いました。

私は「もう秋になります」と言いました。私は「約1か月前、それらの葉は本当にきれいで緑でした」と言いました。

「はい」と彼女は言いました、「ビル」。

私は「いつだったのか.....今はどんな感じ?」と言いました。

そして彼女は言いました、「まあ、それらは黄色と茶色、そして緑と赤です。」

そして私は、「ドロレス、何が彼らを黄色、茶色、緑、そして赤に変えるのですか?」と言いました。

彼女は「彼らは死にかけている」と言いました。

私は「いつ木が一番きれいだったの?」と言いました。

彼女は「今」と言いました。

私は言いました、「聖書は主の目に貴重なのは彼の聖徒の死であると言っています」を見てください。それが時が来た時です。私は言いました「人生は戻ってきています 人生は木です。私たちは皆、命の木にぶら下がっています。そうです。」

44 集会の本のセールスマンであるウッド氏は、エホバの証人でした。そして、彼には彼と一緒にいる男の子がいました、彼の足はポリオでこのように引き上げられました。そして、彼は会議の1つでルイビルにいました、そして彼はその識別に気づきました。そして彼は、「今、それは私には正しいように思えます」と言いました。

そして、私がキッドソン兄弟と彼らと一緒にいたとき、主の天使の写真が撮られたとき、彼はテキサス州ヒューストンに行きました。そして、まあ、それは数回取られました、そしてちょうど最近再び取られました。ドイツで何度も撮影されました。

45 それで、ウッド兄弟は彼の男の子を連れてきて、ある集会に出席していました。そして、彼らはずっと後ろに座っていました、ああ、ほぼ半街ブロック、またはもっと遠くに。ある夜、プラットホームに立っていて、私の人生で彼のことを聞いたことがなく、ただそこに立って周りを見回していました。目の前にある幻に気づき、「男がいます。彼と彼の妻はずっと後ろに座っています。そして、彼らはケンタッキー州から、ケンタッキー州ラグランジュと呼ばれる場所まで来ています。彼の名前はウッドです。彼は大工です。彼は彼の足を引き上げたポリオの損傷を持っている少年を持っています。このように主は言われました、「少年は癒されました!」そしてちょうどそのように始めました。そして彼の妻はメソジストだったので...または私は神の教会—アンダーソン神の教会を信じています。

「あなたはそれを聞きましたか、ルビー?」と言いました。そして、彼は「デビッド、立ち上がって」と言いました。彼の足は他の足と同じくらい完璧でした。彼は集会に参加しています。そして、そのエホバの証人はキリストに身を捧げました。

46 そして、そこから彼の兄弟が降りてきて...ああ、あなたはエホバの証人がどのように感じているか知っています。彼らは彼の兄弟を彼らの交わりから追い出すために降りてきました。彼は、「あなたはそのようなことを聞いていますか?」と言いました。言いました、「これらの間違ったことがそのように起こっているのですか? 行ったことがある...?」彼の父はエホバの証人の読者です。彼は「あなたはそのようなことよりもよく知っている」と言いました。彼は言った、「もし私がその男に会ったら、私は彼に私の心の一部を与えるでしょう。」「私は私のパパが私に与えることを教えることを知っています。」と言いました。

「それは彼が草を刈っているところだ」と言った。

そして、私は古いフロップダウンの帽子を持ってやって来て、座って彼と話しました。彼は「まあ」と言いました、「言わせていただきますね、ブランナムさん」と彼は言いました、「私たちはエホバの証人として育てられました。」

私は「それは大丈夫です」と言いました。私は「光がまったくないよりはラッセルライトになりたい」と言い、彼の言ったことを無視せずにそのまま続けました。そして私ができる限り彼に話しかけました。そして私は、「あなたは既婚男性で、2人の子供がいます」と言いました。そして私は言いました、「しかし、あなたはあなたの妻から離れました。」

47 そして彼は銀行に目を向けた。それがデビッド・ウッド氏の父親であり、ここでの会合に参加していません。振り返ってみると、彼はウッド氏が私にそう言ったのではないかと思っていたので、私は彼の考えをすぐに理解しました。

それで私は言いました、「あなたはバンクス兄弟が私にそう言ったと思っていました。彼はしませんでした。彼は私に彼の家族について何も言わなかった。」しかし、私は言いました。「銀行が私にこれを言ったとしたら、多分あなたは思うかもしれません...昨夜、あなたは赤褐色の髪的女性と一緒にいました。彼女の恋人がドアに近づいてドアをノックしたとき、あなたは彼女と一緒に部屋にいました。そして彼女はドアに行きました、そしてあなたを来させませんでした、そしてあなたは窓を通して見ました。それは良いことでした。それはあなたの頭脳を撃ち殺すでしょう。」私は「男は黒いスーツを着て、赤いネクタイをしてそこに立っていました」と言いました。

ああ、彼は床に倒れるのが好きでした。彼は言いました、「それは真実です。それが真実です!」そしてそこで私は彼にバプテスマを施しました。そしてその数日後、ここに彼のお父さんが降りてきます。ここに彼

の妹が降りてきます。彼女は降りてきて、両方の男の子をまっすぐにするつもりでした。彼女が来た同じ日に、同じことで彼女にバプテスマを授けました。彼のお父さんが降りてきて、彼は私たち全員をまっすぐにするつもりでした。それで彼は私たちを連れて行きたかったのです。

48 私は言いました....彼は漁師でした。私は「さあ、バンクス、彼を釣りに連れて行きましょう」と言いました。それで私たちは川を渡って始めました。一晩中雨が降っていた。あなたはそれが東にどのようにあるか知っています。それらの川は立ち上がる、そして物事。ウルフクreekダムに行きました。そして、道のりで.....彼はまだ宗教について何も言わなかった、非常に厳しい老人。そして彼は言いました....そして彼ができる限り賢い。それで彼は川を渡った。

私は「まあ.....」と言いました。座っていると、そこに幻が見えてきました。銀行が運転していて、私はそのビジョンを見ました。私は言いました、「今、私たちが横断するすべての小川....」

彼はちょうど言った...その夜、彼は「もし私がそのようなことが起こるのを見ることができたら、私はそれを信じるだろう」と言った。

そしてその朝...主の恵みがあり、こう言いました。「私たちが渡るすべての小川は泥だらけになります。ウルフクreekダムに着くと....雨はダムの上...またはダムの下に降りました、そしてそれは泥だらけではないでしょう、そして私たちは今日釣りをします。今日は夕方まで何も捕まえません。

「それから、ここウツさん、バンクス・ウッド、あなたは小さなナマズを1匹捕まえるつもりです。私は約20ポンドを捕まえるつもりです、そしてそれらのいくつかは1個あたり10ポンドもの重さがあります。あなたは同じ場所で同じ餌で釣りをします、あなたは何も捕まえません。

「夜の11時頃まで釣りをします。魚は噛むのをやめます。私たちは夜11時に夕食を食べに行き、一晩中滞在します。そして翌朝、私たちは外に出て、彼にうろこが付いている大きな魚を捕まえるつもりです、そしてそれは最後に捕まえらるものになるでしょう。私たちは捕まえません...その日の残りの時間は釣りをし、何も捕まえません。」

そして老人はそうのように周りを見回しました。私たちは降りて、すべてが起こった、ちょうど完全に、それがしたように。そして、その夜私が川の土手に出てきたとき、彼は言いました。「ここに水があります。バプテスマを受けるのを妨げるものは何ですか？」そしてそこに、彼らのグループ全体がいます。ああ、私たちが木にぶら下がっていることを知ることは素晴らしいことです。

49 さて、ウツさんと私はリス狩りをしていました。ご存知のように、私は狩りが好きです。それで、2年ほど前にケンタッキーと一緒にリス狩りをしていました。私は秋に休暇に来るでしょう。そして、私はアフリカ、インド、そしてほぼ世界中で狩りをしましたが、私は... 8月に霧のかかった朝を与え、いつか22ライフルを持って...

そして、私はリスを狩るのが大好きです。そして、私たちは2週間の滞在でケンタッキーに滞在していました、そしてそれは本当に暑くなりました。さて、あなたのカリフォルニア人は、葉とすべてがとても暑いとき、私が何について話しているのかわからないかもしれません....そしてあなたはそこに足を踏み入れると、彼らは小さな灰色のリス....

そして、私たちは50ヤードで、目だけを撃ちます。彼が40ヤードの場合、私たちは50ヤードに戻り、目を撃ちます。もし彼らがそうしないなら....それが彼の目の下、または彼の目の上に当たったら、私はライフルを交換するつもりです。何か問題があります。そして、私たちはそれを正しく維持します。それが方法です...私はその場所に正確に撃つために、それに自分自身を訓練しようと思いました。

50 そして、そこでキャンプをしていると、とても暑くなりました。そして、彼らは小さな灰色のリス! あなたはフディーニが脱出アーティストであると話します一彼は彼らの一人の未成年者です。小さなブラシを打つだけで、彼はいなくなりました。

皆さんはG・H・ブラウン兄弟をご存知でしょう。一度彼にそれについて聞いてください。私たちは一緒に狩りをしました。それで...そして私は彼の妻が約20年前に彼を買った古い自動ショットガンについて彼をからかいます。つまり、ショットガンでリスを撃ちます。

51 それで、私たちは狩りをしていて、そこに.....ウツ兄弟は「ブラナム兄弟」と言いました。「ここのある場所にいくつかのくぼみがあります。」と彼は言いました。カリフォルニアにはないと思います。それは落ちて

います...小川が流れ落ちるところまでずっと下がっていて、それを湿らせます。平らな地面で、そのブラシに触れると、ブラシは消えてしまいます。あなたはそれらに乗ることができません、なぜなら...彼らは200または300ヤード離れて行くからです。彼らはそんなに早くなくなりました。

それで、私たちは言いました。「ここに行って、彼が私たちを狩らせてくれるかどうか見てみましょう。彼は約500エーカーあります。」

そして私は「まあ、それでいい」と言いました。

それで、私たちはそこに入るまで、豚の小道やその他すべてを、ブラシを通り、くぼみを越えて、あなたがあるような素敵な道ではなく、下りました。彼は言いました。「今、これにはただ1つの欠陥があります。「この老人は」と言いました、「彼は不信心者です。そして、ああ、彼は荒っぽいです。」

私は「ああ、あなたに話をさせます」と言いました。それで私は小さなトラックに座って、素敵な白い家まで車で行き、大きな丘のふもとに戻り、大きな雑草畑とトウモロコシ畑がこちら側にありました。私たちは運転した。ケンタッキー州に2人の老人が座っていました。ケンタッキーには独自の生き方があります。

52 ダビデ兄弟、そこに戻って、ギリシャの兄弟は「ブラナム兄弟、私はあなたのテープを聞いた」と言いました。「私は……」と言いました。これは朝食後にこれを言うのはちょっとひどいです。彼は「あなたはビスケットの髪の毛について言及しました」と言いました。言いました、「私は見ました。それが何なのかわかりません。」

そして私は、「それはケンタッキー、ビスケットの髪の毛だけだ」と言いました。私は、「辞書でそれを見つけようとしなさい。辞書に載っていないからです。」と言いました。私は「ケンタッキーで……」と言いました。

53 それで、私たちはそのササフラのくぼみに戻り、大きな古い帽子がぶら下がっていました。私たちは立ち止まり、ウッド兄弟が出て行きました。2人の老人がそこに座っていました、そして彼は彼らの1人に近づきました。

彼は彼を呼んだ、「どうしますか?」と言いました。

そして彼は言いました、「どうしますか?」そして彼は言いました、「私は……私の名前はウッドです。私はバンクスウッドです。」彼は、「私たちはここダットンで狩りをしているのだろうか...」と言いました。彼らは小川によって彼らの場所に名前を付けています。「私たちはダットンを探していましたが、あなたの場所で狩りができるかどうか疑問に思いました。」と言いました。

彼は言いました、「あなたは何の木ですか?」

彼は「私はジム・ウッドの男の子です」と言いました。

「彼らは何でも……」と言いました。[それは本物の人々であったエホバの証人の一団でした。]彼は言いました、「ジム・ウッド、彼の人々の誰もが、私がこの場所で得たものなら何でも歓迎します。」彼は「老人ジム、彼はまだ生きていますか?」と言いました。

彼は言いました「はい 彼は今インディアナにいます」と言い、「私もそこに住んでいます。」「そして私は毎秋リス狩りに降りてきます。」と言いました。

54 彼は言いました、「自分を助けなさい。私は500エーカー、そしてたくさんのくぼみや物を手に入れました。自分を助けてください。」

彼は「まあ、どうもありがとう」と言いました。彼は「牧師を連れてきました」と言いました。彼は言った、「あなたも彼が狩りをしても構わないのですか?」

彼は言った、「ウッド、あなたがどこへ行っても説教者を連れて行かなければならないまで、あなたはとても低くなっていると私に言うつもりですか?」そして彼は言った...

だから、車から降りる時が来たと思いました。それで私は車から降りてそこを歩いて行き、「どうしますか?」と言いました。

彼は「ハウディ」と言いました。そして彼は言いました...彼らが私を紹介する前に、彼はすぐに突っ込みました。彼は「まあ、私はあなたたちのためにあまり役に立たない」と言いました。

私は「まあ、私はあなたの正直さに感心します」と言いました。

そして彼は、「その理由は、これが一つのことです」と言いました。彼は言った、「そもそも、あなたは説教者のようには見えません[リスの血とひげ、そして2週間お風呂にいなかった、私は...]」

それで私は「まあ、それも正しいと思います」と言いました。

55 そして彼は言いました、「私があるあなたの仲間に対して得たもの、あなたは何も木を吠えています。」

さて、あなたがそれが何であるかを知っているかどうかはわかりません。それは別の「ケンタッキー」です、デビッド。辞書で見つけようとしなさい。あらいぐま犬がうそつきであるとき、彼は木に走ります。そして、あらいぐまはトリックを持っています。彼は走り、木に飛び乗って、そして飛び降りますね。そして、犬が十分に訓練されていない場合、彼はあらいぐまを見たこの木に走り、木の周りを追跡した場所の匂いを嗅ぎ、そこに立って吠えます。そして、木には何もありません。だから彼らは通常その犬を撃ちます。

それで彼は、「君たち...それがあなたが必要としているものだ。かなりの額のバックショットだ」と言った。「あなたはそこに何も木を吠えているからです。」あなたは私が何を言っているか知っています、説教します。彼は「私は不信心者と見なされている」と言いました。

私は言いました、「まあ、すべての人は自分の意見に賛成です。しかし、私には、それは自慢することではありません。」

56 彼は言いました...「まあ」と彼は言いました、「それはそうです」と言いました、「あなたはそのようなことはない何かについて話しているのです」。

「はい」と言いました。私は「もちろん、それは意見です」と言いました。

そして彼は「まあ」と言いました、「あなたたちは神について話している、そしてそのようなことはない」と彼は言いました。そして彼は、「もしあれば、彼を見ることができた」と言いました。そして言いました、「私はここ数年生きてきました。私は70歳で、「私はまだ彼について何も見ていません。」と言いました。そして彼は言いました、「そのようなことはありません、そしてあなたたちは間違った木を吠えています。そして、あなたはあなたの生計のために人々のお金を取っています、そしてそのようなこと、そしてあなたは詐欺師の集まりに他なりません。」

「ああ、私の!」と思いました。私は言いました「はい「勿論、それは意見です。」私は「神よ、あなたが私を助けてくれないのなら……」と思ったので、私は言いました。それは、もちろん、意見です。」私は言った...

57 そして、ご存知のように、私の古い南部のママであるママはいつも私に良いアドバイスをしてくれます、そして彼女は一度私に表現してくれます。彼女は、「牛に十分なロープを与えれば、彼女はぶら下がるでしょう」と言いました。だから私はそれが彼にとって良いものだと思います:ただ彼を先に進めてしばらく吠えさせてください。彼がどの木に立っているかがわかります。それで、私は彼に先に進んで話をさせました、そして私は何かを見つけました。そして、何かが頭に浮かびます。

そして、彼らが座っていたリンゴの木がありました。そして、その年の秋にリンゴがあり(8月の最後の週頃)、リンゴは落ちていて、黄色いジャケットがそれらを食べていました。あなたは黄色いジャケットが何であるか知っていますか? 大丈夫です。さて、ケンタッキー州のどこから来ましたか? それで、私は彼に言いました、「私がそれらのうちの1つにリンゴを持っていてもよろしいですか?」

彼は言いました、「自分を助けなさい。黄色いジャケットがそれらを食べています。」

58 私は手を伸ばしてそれを手に入れ、これらの古い血まみれのズボンにそれをこすりつけ、そして噛み切つて、「私の、それは良いリンゴだ」と言いました。

「ええ、それはダンディです」と言いました。

私は言いました。「彼女はかなり重いのに耐えているようです。「はい。」と言いました、「私は毎年たくさ

んのリンゴの木を手に入れます。」

「木は何歳ですか?」と言って、彼の主題を変えました。

そして彼は「ああ」と言いました、「あの古い煙突が向こうに立っているのがわかりますか?」「私はそこで生まれました」と言いました。「マミーとパピーはそこに住んでいた」と言い、「そして火がそれを焼き尽くした。この新しい家をここに建てました。」そして、「それから私はここで育ちました」と言いました。そして、「パピーとマミーが死んだとき、私はただ家にいた」と言いました。

そして、「私たちがここに引っ越したとき、私はその木を40年、50年前か何かに置いた」と言いました。そして、「それ以来ずっとそこにあります」と言いました。

私は「それはいいね」と言いました。私は「私の、それは素晴らしい」と言いました。

59 彼は「はい」と言いました。彼は「説教者に戻る」と言いました。「私はあなたに何かを聞きたいです」と言いました。

私は言いました「はい それはなんですか?」

彼は言った、「皆さん、もしあなたが何かを生み出すことができれば、なぜ、それは違うでしょう。」彼は言った、「今、私は説教者のことを一度聞いたか、彼のことを聞いた」。

「この丘の上にいるお姉さん(誰か)」は言いました、「彼女は癌で死にかけていました」。そして、「ケンタッキー州アクトンに説教者がやって来ました。そこから約30マイルのところがありました。そしてウッズは私を見渡し、私は首を横に振った」と彼は言った、「メソジストのキャンプ場で」。

彼は、「この説教者はインディアナ州の外から来ました。」と言いました。そして彼は言いました、「そして彼はそこに来て言った...彼らはその夜そこに約2,500人が集まったと言った。」そして、それは丘の向こう側にあります。彼らは馬に乗って、そこにたどり着くためにあらゆるものを持ってやって来ます。

60 そして、「彼は3泊しました」と言いました。

そして、「二日目の夜に」と言いました、「この老婦人の妹はキャンベルズビルと呼ばれる場所に住んでいます。そして、この説教者が説教している間、彼は聴衆を振り返ってこの女性がどこにいたかを振り返り、彼女の名前を呼んで言った、「今夜、あなたが家を出る前に、あなたは左側のドレッサーの引き出しを見ました。あなたはその隅に青い数字が書かれた小さなハンカチを手に取りました。あなたはそれをあなたの手帳に持っています、そしてあなたはまあまあという名前の姉妹を持っています、それは胃の癌で死にかけています。そのハンカチを持って行き、それを女性の上に置いてください。そうすれば、彼女は元気になります。」

「まあ」と言いました。「その夜の真夜中頃、私たちは彼らが丘の上に救いの軍隊を持っていると思っていました。」彼は言いました、「私は私の人生でそのような轟音を聞いたことがなく、彼らは叫んでいました。[ご存知の方もいらっしゃると思いますが、ベン兄弟とその女性にハンカチをかぶっていました。]」そして、「おばあさんが死んだのではないかと思いました」。

「そして翌朝、私たちは彼らが葬式の準備をする時期を見るためにそこに行きました。」と言いました。そして、「彼女はテーブルに座って、彼女と彼女の夫は、揚げたリンゴのパイを食べ、コーヒーを飲んでいました。」と言いました。

61 揚げリンゴのパイが何であるか知っていますか? 半月の売上高? 私は家にいると確信しています。だから...あなたが知っている、私はそれに糖蜜が付いているのが好きです、見てください。そして、私は振りかけるのが好きではありません。私はバプテスマを施します。私は本当にそれを彼らに注ぎます。私はパイにたくさんの糖蜜が好きです。だから私は彼らのものが大好きです。

そして、彼女はこの揚げたリンゴのパイを食べていました。そして、「その前日、私たちがさえできなくなるまで、彼女はそのような状態にありました...彼らはそれ以上彼女をベッドパンに置くことができませんでした。彼らはドロシートを使わなければならなかったのです。」そして、「私と妻はそこに行き、1日2回ベッドを変えました。」と言いました。

そして、「医者はその約6週間前に彼女をあきらめ、彼女がいなくなるまで彼女を持続させるのに十分なフェノバルビタールを与えました。癌...彼らは彼女を開いて、ちょうど彼女を覆いました。」「もう彼女をだま

す必要はない」と言った。そして、「そして、あなたが知っているように、彼女はそこに座って食事をしていて、飛び上がって、私たちと握手して走りました。」と言いました。そして言った....

私は「あなたはそうは言わない」と言いました。

「はい」と言いました。「今....」と言い、「信じられないなら」と言いました。「すぐそこに行って見てください。彼女はあなたに自分で言うでしょう」ほら、彼はその時私に説教していました。彼にしばらく証言させてください。

62 私は「ああ、信じられないんですね?」と言いました。

彼は「もちろん」と言いました。言いました。「信じられないなら、丘のすぐ上に行って調べてください。私はあなたをそこに連れて行きます。」

私は「ええ」と言いました。「いいえ」と言いました。私は「あなたの言葉を信じます」と言いました。私は「あなたの言葉を信じます」と言いました。私は「あの男は誰だ?」と言いました。

「わかりません。」「彼はインディアナ州出身で、彼らは彼が再びここに来ると言っていました。」と言いました。言った、私は彼が来たら彼のところに行きます。「言った」私は彼に近づいて言います、「私はあなたに何かを伝えたい、説教者。あなたがこれまでこの国に行ったことがなかったとき、あなたがそれをどのように知っていたかを世界で教えてください。」

私は言いました「はい 彼に会えることを願っています。」私は「彼があなたを助けてくれることを願っています」と言いました。

そして彼は、「まあ、私は行きます」と言いました。彼はタバコを噛んでいました、そして彼はそのように唾を吐き、そして去ります...

63 そして私は言いました、「そしてあなたは今私に言うつもりです...この木に戻ってください。」私は「びっくりしました」と言いました。そして私は言いました、「ご存知のように、私たちは涼しい夜さえありませんでした。霜も何もありません。」そして私は言いました、「それらの葉は地面にあるその木から落ちています。そして、それが私たちがここに来る理由です。それらから、葉が落ちて乾燥している平らな森から、そしてこれらのくぼみに入り、そこで水に落ちて濡れます。」私は言いました、「そして、あなたは...いったい何のために彼らがその木から落ちた葉を残しているのですか?」

「まあ」と彼は言いました、「その命が彼らを去りました。」

私は「何?」と言いました。

彼は「命は彼らを去った」と言いました。

「葉を残りましたか?」

「ええ。」彼は言った、「それがそれを落とす理由です。」

私は「まあ、霜や寒さの兆候はありません」と言いました。

彼は言った、「まあ、それはただ...それは彼らを去ります。」

そして私は、「まあ、命はどうなるの?」と言いました。

彼は「それは木の根元まで下がる」と言いました。

私は「どういう意味ですか?」と言いました。

「まあ、冬はそれを凍らせ、それは木の生命の胚芽を殺すでしょう。」と言いました。

そして私は、「それから、いつまで、そこに隠れるために木の根元まで下がるのですか?」と言いました。

彼は「春まで」と言いました。

「そして、それはあなたにリンゴの別の混乱と葉の束をもたらしますか?」

「はい。」

64 「ええと」と私は言いました、「それは奇妙なことです。」私は「何かお聞きしたいのですが」と言いました。

彼は「はい」と言いました。

私は言いました。「冬が来ると、その木、その木の中での生活にどのような知性が伝えますか？そして、あなたがこれらの手足から出てここに降りて、これらの根で覆われていなければ、あなたは死ぬでしょう。そして、その生命はその知性に従い、木の根に降りて、冬が過ぎるまでそこにとどまります。そしてまた葉っぱを育てますか？」私は「それはどんな知性を持っているのですか？」と言いました。

そして彼は、「ああ、それは自然だ」と言いました。

私は「自然とは何ですか？」と言いました。

彼は、「まあ、それは実際にそれをするだけです」と言いました。彼は私の主張を見て、見て、そして彼はそれから隠れようとしています。彼は言った、「まあ、なるほど……」

65 私は言いました「まあ何を言いますか 水の入ったバケツを取り、オークの柱に置いてみましょう。そして今、8月中旬に、それはポストの一番下まで流れ落ち、春までそこにとどまり、戻ってきて再びバケツをいっぱいにします。それでいいのでしょうか？」

彼は「いや、いや」と言いました。

そして私は言いました「まあどんな知性を教えてくださいませんか 木には知性がないので、今は知性でなければなりません。その生命をこの木から枝の枝から根まで動かすには知性がなければなりません。そして、再び立ち上がる時が来たことを伝える知性。」

彼は「私はそれについて考えていなかった」と言いました。

そして私は言いました「今あなたはそれについて長い間考えています そして、あなたが木の樹液、その生命、根に降りて隠れるように、さもなければそれが死ぬことを告げる知性を見つけたとき。次に、その女性が誰であるか、そして彼女の命を救うために何をすべきかを教えてくれた知性をお話します。」

彼は「あなたは説教者ではないのですか？」と言いました。

私は「そうです。」と言いました。

66 ほらね。見せてください...「あなたは私に命への道を示して下さい」それはとても単純ですが。そして、彼の膝の上で、帽子を脱いで、私は彼をキリストに導きました。おそらく自分の名前を書くことができなかった無知な農夫に「あなたの命の道を見せてください」。しかし、神には命の道を歩み、それに導く方法があります。そして兄弟たち、私たちは命の木にぶら下がっています。そしていつの日か、この古い葉は落ちるでしょう。

しかし、いつか復活が来るでしょう。偉大な千年紀が私たちの前にあり、偉大な復活です。私たちは永遠の命を持っているので、いつかまた戻ってきます。一言で言えば分かります。時間があれば、それはどうですか。私たちは多くの方法でそれにアプローチすることができました。人々...時々あなたは人に到達するために異なる方法を使わなければなりません。

67 去年、私は降りて、「またおじいさんの家を探しに行きます」と思いました。その場所まで車で行くと、周りに雑草が生えていました。私はポーチに座っている年配の女性が同じ木からリンゴをはがしているのを見ました。私は歩いた。私は「どうしますか？」と言いました。

彼女は言いました、「どうしますか？」

そして、私は言いました...私はそこに入る前にいたるところに大きな掲示されている看板を見ました。そして、「リス狩りはできるのかな」と言いました。

彼女は言いました、「先生、私の夫が生きていたとき、彼はとても奇妙でした。彼は根拠を投稿しました。」そして、「私には何人かの男の子がいます...ケンタッキー州ルイビルケンタッキー州に住んでいます。」

「そして彼らは狩りに降りてきます。」と言いました。

私は言いました「私はそれを理解しました 彼は私にそう言った。彼に会えますか？」

彼女は「彼は続けている」と言いました。

私は「そういう意味ではない」と言いました。

「はい。」

私は「彼が生きていたとき、私は狩りができると言っていました」と言いました。

彼女は「あなたは誰ですか？」と言いました。

私は「私はブラナム兄弟です」と言いました。

彼女は鍋を落とした。彼女は私を手でつかんだ。彼女は言いました、「ブラナム兄弟、彼は今栄光に満ちています。」彼女は、「彼はその時から頑固なクリスチャン生活を送っていました。」と言いました。

私は「そしてあなたは同じ木からリンゴをはがしている」と言いました。私は「りんごがまた戻ってきますね」と言いました。私は言いました、「彼はいつか、大いなる復活の時にそうなるでしょう。」

68 そして、兄弟、姉妹、私たちが愛し、キリストが死んだ人々をこの人生から逃れ、永遠の命なしに死なせる余裕はありません。彼らが復活の時に再び立ち上がることができる場所に彼らを連れて行くために、私たちができるすべてのことをしましょう。「あなたは私に命の道を見せてくれます。」

あなたの兄弟はあなたの会衆にそれを行うことができます、なぜならあなたの多くは研究された牧師や神学者だからです。私にはその能力がありません。しかし、私の小さな...私には能力がありませんが、私に与えられた小さな賜物—自分を特定のギアに引き込むようなもの、人々が...彼らが何を考えているのか、何をしているのか、そして何をしているのか行われるべきです、それは私のミニストリーの小さな方法です。それは、神が子供たちをその側に連れて行くために私に使用させてくれる小さな道の1つにすぎません。

そして、私は今、あなたと一緒に私のものに加わっています。そして、彼らが主の道を見つけるかもしれない人生の道を人々に示しましょう。そして彼はここで、「神の御前に喜びがあるからです」と言われました。私たちがこの道を左右に見て歩いているとき、喜びがあります。木々、葉、すべての復活は神について語っています。ですから、私たちが神の被造物のようになり、私たちが行うすべてのこと、または言うことにおいて神について語りましょう。それを彼の栄光に輝かせましょう。神はあなたを祝福します。ちょっと頭を下げましょう。

69 群れの偉大な羊飼いである主イエス様、主よ、あなたが私に人生の道を見せてくださったことをとてもうれしく思います。そして、私はこの壮大な古い高速道路を歩いていることをとてもうれしく思います。私たちは高速道路の脇に立って、あなたがそこにいる死にゆく人類の塊に私たちに与えてくれたすべての才能で私たちの声で叫んでいるので、今日これらの兄弟と私の腕を合わせてくれてとても感謝しています、あなたが死んだために。主よ、私たちを助けてくださいますか？

私たちの人生のそれぞれが木、または罪人と不信者にそのような確信をもたらす何かであり、人々が...彼らが主の道を見て、主の喜びに入ることができるようになりますように。認めてください、父よ。一緒に私たちの弱い努力で私たちを祝福してください。この素晴らしい交わりの時間、この壮大な朝食に感謝します。そして父よ、私たちはただ...私たちの魂と体は神の善によって養われていると感じています。

今、私たちと一緒にいて、私たちがさらに集会に行くとき、そして今夜私たちと一緒にいてください、そして罪人が救われるために祭壇にすぐに来るようになる何かがなされるかもしれません。病人が癒されますように。

そして、聖霊のない者たちが、キリストの体にバプテスマを授けられますように。主よ、それを認めてください。私たちはあなたに献身します。私たちは祈りと信仰を取り、それらを一緒に置き、あなたの祭壇の上に置きます。そして、私たちはそれをあなたに送ります、主よ。イエス・キリストの名において、私たちを受け入れてください。アーメン。

70 神があなたを祝福しますように、私の兄弟たち。そして、私は今、兄弟の一人が教会または会衆を正式

に解任するために来ると思います。

そして、彼らが誰が来るかを決めている間、私はあなたの素晴らしい出席に感謝していると言いたいです、そして私はここで私の時計によってほぼ5分後の正午まであなたをここに留めてしまったことを残念に思います。そして、私はただ座って、私が見た素晴らしいこと、つまり主がしていることについて、ミッションフィールドで、そして素晴らしい...素晴らしいことについてあなたに話すことができました。決して恐れないでください。覚えておいてください、神は約束されました。神は約束を守らなければなりません。彼は約束を守らなければならない。神は今あなたを祝福します。ボーダーズ兄弟。



www.messagehub.info

説教の語り手

ウィリアム・マリオン・ブラナム

"...第七の御使が吹き鳴らすラッパの音がする時には、神がその僕、預言者たちにお告げになったとおり、神の奥義は成就される。" 黙示録 10:7